

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
浜松医科大学

目 次

【著作権】資料 1	先端医療開発特区（スーパー特区）採択研究課題 に関する新聞記事及び概要 1
【著作権】資料 2	質量顕微鏡法に関する新聞記事 2
資料 3	動物実験施設新営工事概要 3
資料 4	研究発表会開催状況 4

資料 1 先端医療開発特区（スーパー特区）採択研究課題に関する新聞記事及び概要

この部分は著作権の関係で掲載できません。

（出典：毎日新聞 平成 22 年 1 月 5 日 夕刊）

(21) **メディカルフォトリクスを基盤とするシーズの実用化開発**

研究代表者 間賀田 泰寛（浜松医科大学光子医学研究センター）

事業の概要

浜松医科大学のグループが持つ内視鏡関連のシーズを基に、医療機器を開発し事業化に至るまで取り組む。開発する装置は、患者の動きに追従する内視鏡手術ナビゲーター（永島医科器械、他）、内視鏡観察部位を示す内視鏡手術ナビゲーター（永島医科器械、他）、内視鏡手術ナビゲーター用超音波診断装置（本多電子、永島医科器械、他）を3つの柱とする。これらの装置開発に際し、許認可機構との早期からの申請相談、経費の流動性を特区により図ることで事業化を加速させる。さらにこれらの技術と経験を生かし、レーザーによる血栓溶解療法を施行する装置と特殊ファイバー（浜松ホトニクス）などその他の内視鏡・ファイバー関連技術の実用化を進める。装置が実用化されるまでのプロセスを支援するため、探索的臨床研究センターと臨床応用実用化戦略室を中心とした取り組み体制を学内に構築する。これらが総合的に支援し、認可取得に至るノウハウを他の装置の開発研究に活かすことを視野に上記シーズの事業化を目指すことで、本邦の装置開発を加速させる。

目指す成果の社会的意義・有用性

致命的となる内視鏡手術の医療過誤は社会問題化しており、開発中の装置により手術を安全・確実に行え、安心と信頼に基づいた適切な治療を受けられる。また医療事故の減少は結果的に医療費の削減につながる。本事業の内視鏡手術ナビゲーターは国産初であり、日本発の新規医療機器の産出で、国外の医療機器メーカーが優位な現状が打破され、高額な医療機器の価格が是正されて、結果的に医療費の適正化および削減が見込める。また、外国製品が優勢であるわが国の医療機器市場を回復し、同時に海外市場の開拓が促進される。さらに、大学に認可取得に至るノウハウが蓄積し、半公的な透明性の高い活動によって、責任ある機器開発が可能となり、日本での開発力が高まる。

成果実現に向けたロードマップ（5年間の研究計画及び最終目標）／特区の必要性



基盤となる特許・シーズ等の強さ（独創性・国際競争力等）

立体形状計測にもとづく内視鏡手術専用ナビゲーター
アンテナなしで患者の動きに追従する世界初の機能
内視鏡観察画面の中心位置を教える世界初のナビゲーター

内視鏡手術ナビゲーター関連特許
国内出願 12件（浜松医大発のシーズ）
海外出願 7件（金件JST出願支援による出願）
内視鏡手術ナビゲーター関連公的資金獲得実績
文科省知的クラスター創成事業(H14～18年)
経産省地域新生コンソーシアム事業(H19年)
経産省地域イノベーション創出研究開発事業(H20年)
JST地域イノベーション創出支援事業(H19～21年)

研究体制

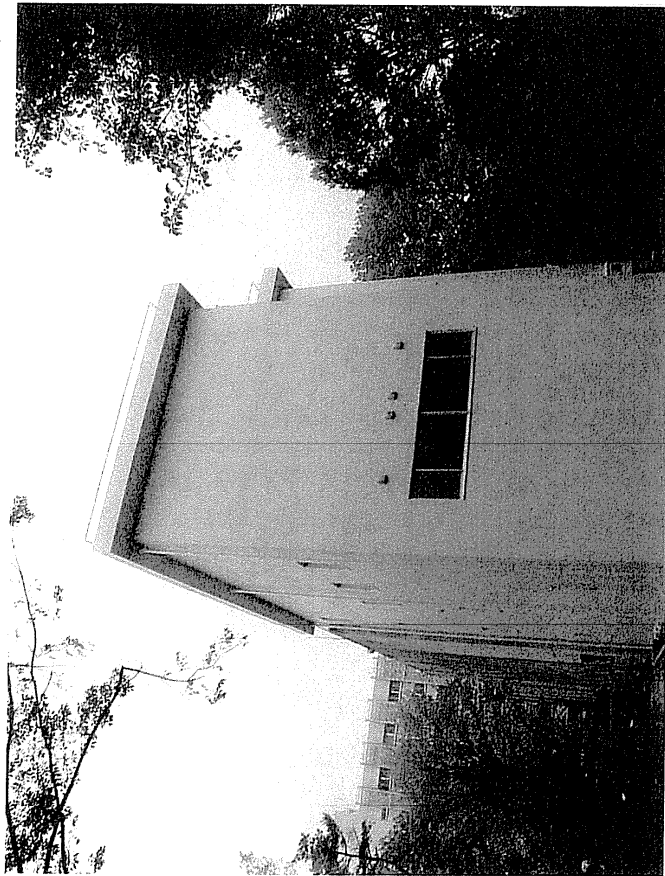


（出典：内閣府プレスリリース（H20.11.18） 先端医療開発特区（スーパー特区）採択課題一覧 抜粋）

この部分は著作権の関係で掲載できません。

(出典：中日新聞 平成 22 年 2 月 23 日 朝刊)

浜松医科大学 動物実験施設新営工事



浜松医科大学 施設課
 【建築工事】株式会社 鈴木組
 【電気設備工事】有限会社 中上電気社
 【機械設備工事】株式会社 大西熱学

建築工事

工事名称 浜松医科大学 動物実験施設新営工事
 施工者 株式会社 鈴木組
 設計者 ㈱東畑建築事務所
 監理者 国立大学法人 浜松医科大学 施設課
 施工場所 浜松市東区半田山1丁目20-1

工期 自 平成21年12月 3日
 至 平成22年 3月26日

建物概要
 用途：大学(実験施設)
 敷地面積：234,636.74㎡
 建物構造：鉄筋コンクリート造り 地上4階建て
 建築面積：165㎡
 延床面積：660㎡
 最高高さ：19.99m
 屋根仕様：露出スファルト防水(非歩行用)
 外壁仕様：防水型複層窓材E吹付
 建具仕様：アルミ製建具・鋼製建具・軽量鋼製建具
 内装仕様：下記表による。

部位	床	壁	天井	備考
1階各室	塗り床(薄版)	EP-G塗装	EP-G塗装	業務用流し・ハンク他
2階各室	長シートt=2.0	EP-G塗装	EP-G塗装	E-キタナ・流し台・洗面化粧台
3階各室	37シート塗膜押え	木材被覆地	木材被覆地	業務用流し他
4階各室	塗り床(薄版)	EP-G塗装	EP-G塗装	業務用流し他
廊下・階段室	長シートt=2.0	EP-G吹付	EP-G吹付	階段手摺/リフト他
EPS・PS・DS	防湿塗装	防湿地	RC打敷し	
その他設備等		小形動物用昇降機設置		各室各階段中心設置
		階段室1階に床下ヒート出入用高床口設置		

資料 4 研究発表会開催状況

	開 催 状 況	発表者延べ人数	参加延べ人数
平成 16 年度	6 回	12 人	209 人
平成 17 年度	8 回	15 人	222 人
平成 18 年度	5 回	8 人	160 人
平成 19 年度	5 回	8 人	205 人
平成 20 年度	※ 3 回	40 人	170 人
平成 21 年度	※ 3 回	34 人	172 人

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

※ 平成 20 年度から開催回数を年 3 回（9 月、12 月及び 2 月）とした。